

ご挨拶



創立30周年実行委員会
実行委員長

山崎 貴治

桂坂学区並びに桂坂学区自治連合会創立30周年にあたりご挨拶申し上げます。

桂坂のまちも30年余経過しました。

1989年（平成元年）は、それぞれの創立記念の年でした。

私事ですが、1999年（平成11年）10月に、10周年を祝う記念行事が行われた年の3月にこの桂坂の地に住居を移し、桂坂住民の仲間入りをしました。正直、当時のことはあまり記憶に残っていません。

その10年後、2008年（平成20年）11月、20周年記念式典及び祝賀会のあったその年は、くすのき自治会の会長として、また創立20周年実行委員として迎えました。まちづくりに参画してこられた桂坂住民の皆様方の活気を感じる年でもありました。

その後、2009年（平成21年）から足掛け10年、自治連合会副会長4年、また会長6年、桂坂のまちづくりに関わり、2018年（平成30年）に30周年の節目を迎えました。2018年10月28日の30周年記念行事“桂坂ふれあいの集い”では、桂坂住民の大勢の方々の参加で大いに盛り上がった1日となったことはまだ記憶に新しいところです。桂坂のまちも約4,000世帯・12,000人ほどの素晴らしいまちに発展してきました。住民の皆様方のまちづくりに対する真摯な姿勢に感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、一方新たな課題が生じています。

それは、少子高齢化に伴う、自治会組織率の低下、地域活動に参加する住民の減少と固定化、これからのまちづくりを担う若い世代の担い手不足、そして、地域住民相互のつながりの希薄化等々、まちづくりにとっての負の状況です。

30周年のテーマ「世代を超えたふれあいを大切に、住民参加の安心安全なまちづくり」の具体化を、10年、20年、30年後……を見据えて、地域住民が支え助け合い、安心して暮らせることのできる地域コミュニティの構築と活性を目指し、行政と連携して取り組むことの大切さを強調したいと思います。

結びに記念誌発行にあたりご寄稿くださいました皆様方に感謝申し上げます。

祝 辞



京都市長
門川 大作

平成元年に誕生し、平成という時代と共に歩んできた桂坂学区の歴史は、まさに「発展の歴史」でありました。豊かな自然を象徴するように、樹木の名が付けられた「かえで」「しらかば」「さつき」の3つの自治会。今ではそれが16の自治会で構成される自治連合会へと大きく発展を遂げられ、それぞれに個性豊かな自治会がまちを一層魅力的に彩ってくださっています。

多くの皆様の御尽力により、この度、学区創立30周年の節目を迎えましたことを心から嬉しく思うとともに、桂坂の発展を支えてこられた山崎貴治自治連合会長をはじめ、全ての学区民の皆様に深く敬意と感謝の意を表します。

大枝山古墳群や桂坂野鳥遊園などの歴史や自然、国際日本文化研究センターや京都大学桂キャンパスなどの「知」が集積する恵まれた環境にあるこの地域では、これまで一貫して住民主体のまちづくりが進められてきました。防災訓練や学区民体育祭、桂坂統一夏祭りや様々な清掃活動、子どもたちやお年寄りの見守り……。さらに桂坂ならではの美しい景観を守るため、桂坂景観まちづくり協議会を中心とした地域ぐるみ・住民ぐるみの活動も活発に行われています。

こうした御活動は、まさに本市の「地域力」「人間力」を象徴するものであり、誠に有り難く、心強い限りです。今後またゆまぬお取組により、桂坂のかけがえのない自然、歴史、文化、景観、そして何より「人の絆」が大切に受け継がれ、未来へと継承されますよう願っています。

本年は、桂坂学区と共に30年続いてきた平成が終わり、新たな時代が幕を開けます。次の時代も「京都に住んでよかった」、そして「西京区に、桂坂に住んで本当によかった」と心から実感いただけるまちづくりに全力を尽くしてまいりますので、皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、桂坂学区の更なる発展、並びに学区民の皆様のますますの御健勝と御多幸を心から祈念いたします。

祝 辞



西京区長

平井 義也

桂坂学区創立30周年誠にありがとうございます。

「世代を超えたふれあいを大切に、住民参加の安心・安全なまちづくり」をテーマに、数々の記念事業が成功裡に開催されましたことをお慶び申し上げます。

桂坂学区は、30年の歩みの中で、自然と調和した美しいまち並みが形成され、街区ごとの公園には自治会の名称にちなんだ樹木などが立派に生育しています。桂坂統一夏まつりでは、そのような公園などを舞台に、創意をこらした催しが繰り広げられ、秋には、ふれあい公園での秋まつりや野鳥遊園でのもみじまつりなど、世代を超えたふれあいが大切にされています。

また、平成28年度には、長年にわたる地域の皆様による安心・安全なまちづくり活動が高く評価され、防災担当大臣表彰を受賞されましたことは、記憶に新しいところであり、地域の絆やふれあいを大切にするまちづくり、安心・安全で暮らしやすいまちづくりなど桂坂学区の皆様のお取組に心から敬意を表します。

西京区といたしましても、区民の皆様とともに「住んでよかった」、「住み続けたい」と実感できるまちづくりを進めてまいりますので、より一層のご理解、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

結びに、30周年を記念した「桂坂ファンファーレ」が、いつの時にも晴れやかに響き渡る桂坂であることを願い、そして、地域の皆様のご健勝とご多幸を記念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



西京区洛西担当区長

石原 敏彦

桂坂学区の皆様、創立30周年という記念すべき輝かしい節目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

「自然と人との共生」を念頭におかれて開発された桂坂学区。自然の恵みをうまく取り込んだ魅力的な「まち」であり、世代を超えたふれあいを大切にする地域の絆が今もしっかりと息づいています。これもひとえに、山崎貴治自治連合会長をはじめとする地域の皆様方が、先人の叡智を礎として、高い志を持って努力を積み重ねてこられた賜であり、心から敬意を表するものであります。

「まちづくりは人づくりから」、これは150年前の明治維新で都の地位を失った京都が、復興を目指した際に生まれた言葉で、市民ぐるみで困難を乗り越え、京都力で未来を切り拓いてきました。貴学区におきましても、「安心・安全で住みよいまちづくり」を事業方針に掲げ、防災訓練や桂坂統一夏祭りなど、学区ぐるみのまちづくりに御尽力されています。まさしく、地域住民のふれあいを通じて住民同士が強い絆で結ばれている表れであり、桂坂の優れた地域力・人間力を活かした“桂坂力”であると思います。

洛西支所といたしましては、今後も地域の皆様方と連携・協力し、住み続けられるまち・安心安全なまちを目指し、取組を推進して参ります。

結びに、桂坂学区が創立30周年を契機に今後ますます飛躍されますこと、並びに地域住民の皆様方の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。